



2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月5日

上場会社名 株式会社エクスマーション 上場取引所 東
コード番号 4394 URL <https://www.corporate.exmotion.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺博之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼経営企画室長 (氏名) 三上宏也 (TEL) 03(6420)0019
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第2四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	586	9.8	25	△71.2	27	△69.8	14	△73.8
2023年11月期第2四半期	534	—	89	—	92	—	54	—

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 14百万円(△73.8%) 2023年11月期第2四半期 54百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年11月期第2四半期	4	78	4	76
2023年11月期第2四半期	18	49	18	21

(注) 当社は、2023年11月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	1,642	1,513	92.1
2023年11月期	1,701	1,553	91.3

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 1,513百万円 2023年11月期 1,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年11月期	—	0.00	—	18.00	18.00	—
2024年11月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,258	13.9	136	3.8	141	5.1	88	—	29	44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) - 、 除外 - 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年11月期 2 Q	3,015,700株	2023年11月期	3,015,700株
2024年11月期 2 Q	77株	2023年11月期	77株
2024年11月期 2 Q	3,015,623株	2023年11月期 2 Q	2,970,148株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法等)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。また、当社は2024年7月23日 (火) にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（四半期連結損益計算書）	5
（第2四半期連結累計期間）	5
（四半期連結包括利益計算書）	6
（第2四半期連結累計期間）	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み、企業収益や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れによる我が国の景気を下押しするリスク、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの事業領域である組込みソフトウェア開発のコンサルティング業界におきましては、引き続き、製造業におけるソフトウェアの重要性が高く、高付加価値の支援が必要とされています。製造業全般において、ソフトウェア開発需要が多く、特に自動車業界における電動化や自動運転をはじめとするCASE領域では、ソフトウェアの大規模・複雑化が進んでおり、ソフトウェア開発の旺盛な受注が継続しております。また、急激に進化した大規模言語モデルに代表される生成AIなどの最新技術の利活用が急務と考えております。

このような環境の下、コンサルティング事業は、CASEやソフトウェア・ファーストなど、最新の技術課題や製造業DXを中心に受注を伸ばし、堅調に推移しました。「Eureka Box (ユーリカボックス)」やトレーニングは、リスクリング需要の高まりを背景に、順調に推移しました。また、引き続き、リリースに向けて生成AI支援サービス「CoBrain (コブレイン)」の開発に注力しました。

費用面においては、外注費やCoBrainの開発コストのほか、採用計画の前倒しによる採用コスト・人件費が増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高586,181千円(前年同期比9.8%増)、営業利益25,753千円(同71.2%減)、経常利益27,955千円(同69.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益14,405千円(同73.8%減)となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,427,783千円となり、前連結会計年度末に比べ63,377千円減少いたしました。これは主に配当金及び法人税等の支払に伴い現金及び預金が52,625千円減少したことによるものであります。固定資産は214,874千円となり、前連結会計年度末に比べ4,244千円増加いたしました。これは主にのれん償却に伴い無形固定資産が18,276千円減少した一方で、設備投資に伴い有形固定資産が11,515千円増加したことと、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が11,472千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,642,658千円となり、前連結会計年度末に比べ59,133千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は129,246千円となり、前連結会計年度末に比べ19,257千円減少いたしました。これは主に賞与引当金が25,467千円増加したことと、未払法人税等が17,989千円増加した一方で、その他に含まれる未払費用が11,932千円、預り金が49,569千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は129,246千円となり、前連結会計年度末に比べ19,257千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,513,412千円となり、前連結会計年度末に比べ39,875千円減少いたしました。これは主に四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が14,405千円増加した一方で、剰余金の配当に伴い利益剰余金が54,281千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は92.1%(前連結会計年度末91.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ52,620千円減少し、1,225,597千円となりました。主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、主に前年同期に比べ税金等調整前四半期純利益27,955千円が減少したことにより、前年同期に比べ44,574千円減少し、18,081千円の収入（前年同期は62,655千円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、主に前年同期に比べ連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が無かったことにより、前年同期に比べ139,353千円減少し、16,447千円の支出（前年同期は155,801千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は、主に前年同期に比べ株式の発行による収入が無かったことと、配当金の支払額が増加したことにより、前年同期に比べ6,161千円増加し、54,254千円の支出（前年同期は48,092千円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の連結業績予想については、2024年1月12日の「2023年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,278,406	1,225,781
売掛金及び契約資産	205,145	189,421
仕掛品	345	958
貯蔵品	23	27
その他	7,240	11,595
流動資産合計	1,491,161	1,427,783
固定資産		
有形固定資産	16,290	27,806
無形固定資産		
のれん	128,849	114,532
その他	12,325	8,365
無形固定資産合計	141,174	122,898
投資その他の資産	53,165	64,169
固定資産合計	210,630	214,874
資産合計	1,701,791	1,642,658
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,602	15,840
未払法人税等	13,457	31,446
賞与引当金	—	25,467
その他	122,443	56,491
流動負債合計	148,503	129,246
負債合計	148,503	129,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,486	453,486
資本剰余金	444,486	444,486
利益剰余金	655,406	615,530
自己株式	△91	△91
株主資本合計	1,553,287	1,513,412
純資産合計	1,553,287	1,513,412
負債純資産合計	1,701,791	1,642,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	534,053	586,181
売上原価	270,087	372,975
売上総利益	263,966	213,206
販売費及び一般管理費	174,423	187,452
営業利益	89,542	25,753
営業外収益		
受取利息	7	6
助成金収入	2,950	2,141
その他	41	54
営業外収益合計	2,998	2,202
経常利益	92,540	27,955
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	92,540	27,955
法人税、住民税及び事業税	46,869	25,022
法人税等調整額	△9,242	△11,472
法人税等合計	37,626	13,550
四半期純利益	54,914	14,405
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,914	14,405

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	54,914	14,405
四半期包括利益	54,914	14,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,914	14,405

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年12月1日 至 2024年5月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	92,540	27,955
減価償却費	8,571	8,691
のれん償却額	—	14,316
賞与引当金の増減額（△は減少）	25,875	25,467
受取利息	△7	△6
助成金収入	△2,950	△2,141
売上債権の増減額（△は増加）	4,780	15,724
棚卸資産の増減額（△は増加）	37	△617
仕入債務の増減額（△は減少）	—	3,238
未払費用の増減額（△は減少）	△8,530	△11,932
預り金の増減額（△は減少）	△22,899	△49,569
その他	△8,298	△7,482
小計	89,119	23,644
利息の受取額	7	6
助成金の受取額	2,950	2,141
法人税等の支払額	△29,421	△7,710
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,655	18,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,079	△16,463
無形固定資産の取得による支出	△325	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△151,546	—
その他	1,150	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,801	△16,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,250	—
配当金の支払額	△50,342	△54,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,092	△54,254
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△141,238	△52,620
現金及び現金同等物の期首残高	1,459,537	1,278,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,318,298	1,225,597

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。